

科目名		特別講義 (Special Lecture)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第5学年	機械工学科	学修	1単位	必修	講義	後期 100分/週	45時間		
担当教員		【常勤】 富永彰							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	企業から数名の講師を招き講義を行う。学生は受講後、報告書を提出する。講師は企業で行われている先端的な技術や実践的な技術、知的財産について講義する。								
学習・教育目標	(D)-(1)	JABEE基準1(2)			(d)-(1)				
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目									
教科書	無(プリント配布)								
補助教材等	担当講師が指示する								
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
				100					100
知識の基本的な理解 【知識の基本的な理解】				◎					
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】									
汎用的技能 【論理的思考力】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									

授 業 の 明 細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	教育コーディネータ	地域産業論、宇部地区の歴史	レポート作成
2	教育コーディネータ	地域産業論、宇部地区の歴史	レポート作成
3	教育コーディネータ	知的財産権	レポート作成
4	教育コーディネータ	知的財産権	レポート作成
5	三菱重工	船舶の近代化と専用船化	レポート作成
6	三菱重工	船舶の近代化と専用船化	レポート作成
7	宇部興産機械	企業における制御技術の応用	レポート作成
8	宇部興産機械	企業における制御技術の応用	レポート作成
9	西部電気	超精密加工技術の現状	レポート作成
10	西部電気	超精密加工技術の現状	レポート作成
11	宇部情報システム	機械技術部門におけるコンピュータ利用の現状	レポート作成
12	宇部情報システム	機械技術部門におけるコンピュータ利用の現状	レポート作成
13	安川電気	産業用ロボットの現状	レポート作成
14	安川電気	産業用ロボットの現状	レポート作成
15	授業まとめ	全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調査を行う。	全体の講義内容の復習
総 学 習 時 間 数			45 時間
講 義			25 時間
自学自習			20 時間